

長畝ふるさと通信

【2011年3月号】

■ 震災被害に心からお見舞い申し上げます。

3. 11「東日本大震災」で被災された多くの方々に心からお見舞い申し上げます。幸いにも佐渡は大きな被害もなく、テレビで被災地の惨劇を目の当たりにすると、なんだか平和すぎて申し訳なく思っています。1000年に一度の大地震だと言われてはいますが、これを機にもう一度人間の生活(食糧や電気)を見直す時期にきているのではないのでしょうか。とりあえずみなさんのお米は大丈夫です。

● 被災地へお米を送りました。

社団法人日本農業法人協会の呼びかけで、宮城県の被災地へわずかではありますが「無農薬コシヒカリ」を送らせていただきました。その他、関東圏でもお米の引き合いが強く、通常月の約5倍の米が出荷されました。

● 佐渡は年中計画停電？

計画停電で都会の夜景が大きく変化している映像を見ました。佐渡では当たり前前の風景です。一過性の節電では何も解決されない気がします。

日本のエネルギー自給率は原子力を除くとわずか 4%しかないそうです。食糧自給率も40%程度、これでは自立できませんよね。



家の近所の夜の風景です。夜は街灯 1 本でほとんど真っ暗

■ いよいよ 23 年産米のスタートです。



3月に入っても冬のような毎日が続きました。普段の年であれば風は冷たいものの、ポカポカ陽気がさして百姓が田んぼをウロウロしたのですが、今年はほとんど見かけません。金北山もまだ雪に覆われたままです。これから急ピッチで春作業が始まります。

① 江流・・・田んぼの排水路となる川の泥上げ作業です。年に1度この時期に集落の百姓が総出で取り組みます。最近は青年会の若者も参加してくれるようになり、今年は20代から80代まで約40人が作業に参加してくれました。



オニヤンマのヤゴやアカハライモリを発見しました。

② 耕耘・・・田んぼに水を張って、トラクターで土を耕します。30aの田んぼをゆっくりと約1時間半かけて丁寧に耕していきます。けっこう根気のある作業です。トラクターの後ろにはカラスやトンビがたくさん降りてきて、田んぼにいるドジョウなどを食べています。



③ 畦塗り・・・田んぼに貯めた水が漏れないように畦塗りをします。今ではトラクターで100mを20分くらいで塗ってしまいましたが、以前は人力で何日もかけてやる作業でした。機械化によって労力は大幅に削減されましたが、畦塗りという農業技術が失われつつあります。

④ 育苗ハウスのビニールを張り・・・育苗用ハウスのビニール張りをしました。10人がかりで約40メートルのハウスを1日で3棟仕上げました。共同作業は楽しいもんです。



まず、サイドビニールを張ります。



屋根になるビニールを被せます。



屋根のビニールが飛ばないようにマイカー線で固定します。



最後に屋根にネットを張って完成。

■ 佐渡高校「選抜甲子園大会」出場！

佐渡島民50年の悲願が達成されました。佐渡高校が選抜甲子園大会に21世紀枠で出場しました。残念ながら古豪・智弁和歌山高校に8対1で敗れましたが、佐渡島民は熱狂しました。夏の甲子園大会目指して、これからも頑張ってくださいと思います。

